

# 塩尻版キツザニアで 子育て支援の拡大を！



西條 富雄  
(清風クラブ)

◆ジュニアリーダー養成事業  
とこどもしおじりとのコ  
ラボについて

**問** ジュニアリーダー養成事業で育ったリーダーと、子どもだけの街「こどもしおじり」の運営側とを組み合わせ、塩尻市の子育て支援事業を拡大することについての考えは。

**答** 回を重ねて、ノウハウを蓄積し、こどもたちに夢を与える事業に発展を期待する。

**問** 「こどもしおじり」を「塩尻版・キツザニア」に拡大させ「チロルの森」で実施することについての考えは。

**答** 人づくりの一環として研究する。

◆長野県民交通災害共済掛金の補助について

**問** 子育て支援として、市内の園児・小中学生の約7千人に1人100円の補助をすることについての考えは。

**答** 公費負担として、公平性に課題があり、困難である。

**問** 園児のみ約2千人に補助はできないか。

**答** 園児のみ実施しても、将来的に小中学校へ拡大するの課題が多い。

◆所有者不明の土地の経済損失について

**問** 所有者不明土地の固定資産税や、公共事業の支障になる農林地の荒廃について、市の考えは。

**答** 納税義務者の追跡調査を行い、所有者不明土地の解消に努め、納税につなげる。

**問** 経済損失は。

**答** 田畑11筆、山林36筆、その他14筆があり、個人24万円余、法人14万円余が徴収できなくなっている。



「こどもしおじり」での様子  
給料「じりい」から納税

# 農業と安全を守る政策



古畑 秀夫  
(市民派連合)

◆中学校の部活動は  
**問** 部活動の状況はどうなっているか。

**答** 約8割の生徒が部活動に加入している。運動部活の基準として「休養日の設定を平日に1日、土・日に1日」、「平日の部活動時間を2時間まで」、「朝部活の原則廃止」等で部活動担当の教員の負担軽減を図っている。

◆減反政策廃止の影響は  
**問** 来年度から実施される米の生産調整の見直しに対する市を含めた対応は。

**答** 従来の生産数量目標に代わり生産数量の目安値を設けることとしており、本市でも市内水稻農家に対する目安値を設けていく。

**問** 来年度からの米の直接支払交付金10アル当たり7千500円が廃止されると荒廃農地の拡大が懸念されるが見解は。

**答** 今回の廃止で生まれる財源を、担い手の経営対策などに振り向けるとしているので、国の動向を注視していく。

◆水道施設の耐震化は  
**問** 地震に備えてどのように整備をしているか。

**答** 重要施設に給水している管路の耐震化を計画的に進めていて、基幹管路のうち耐震化されている管の比率は、43・1%となっている。

◆すがのの郷廃止後の対応は  
**問** ふれあいセンターでは入浴の無料日を1日と考えているよすがが増やせないか。

**答** 全年齢対象に無料日を設けたい。日数は検討していく。

**問** 売却予定の民間事業者は、市社会福祉協議会と平成会が名乗りを上げている。



塩尻西部中学校における放課後部活動の様子